

2025年度「学びの多様化支援士」履修証明プログラム シラバス

科目No	10	科目名	外国につながる子どもへの学習支援	
担当教員	相良 好美			
オンデマンド	3.5時間	Webライブ	3.5時間	
Webライブスクリーンの準備物	①オンデマンド研修の資料・メモ ②授業動画内で指示した補助的な資料・文献 ③Zoomによる双方向型の研修に参加するためのWEB環境（パソコン・Wi-Fi環境・WEBカメラ・マイク等）			
備考				
教員からの連絡	外国につながる子どもたちへの学習支援というと、ことばの教育（日本語教育）を思い浮かべる方が多いと思います。しかし発達段階にある子どもの第二言語習得には大人の学習者とは違った困難さがあり、大人とは異なるアプローチが必要です。限られた時間の中ではありますが、できるだけたくさんの理論や事例、関連書籍の紹介をしたいと思います。本講座が、皆さんが外国につながる子どもの日本語学習支援・学習支援について学ぶ際の「学びの入り口」になれば幸いです。			

■授業のテーマ及び到達目標

近年増加している外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語教育及び学習支援の方法について、多言語多文化背景にある子どもたちへの言語教育に関係する理論について学び、その理論を基にした子どもたちへの学習支援の方法や、支援に際し注意すべき点を学びます。また、子どもたちの個別状況に即した支援を行うために、国際移動をする子ども・家族が置かれている状況を社会文化的側面・言語的側面・制度的側面から多面的に理解を深めることを目指します。

■授業の概要

◆オンデマンド研修(3時間30分)

外国につながる子どもたちが置かれている状況と教育課題を多面的に理解する。

第1回 外国にルーツを持つ子どもを取り巻く現状と課題

第2回 外国人の子ども学習を支える学校・地域の現場

第3回 文化適応とアイデンティティ

第4回 子どもの言語習得と認知発達

第5回 日本語指導と教科指導における支援

第6回 特別支援教育と外国人児童生徒支援の接点

第7回 進路・キャリアをめぐる課題と支援

◆オンライン研修(WEBライブ)(3時間30分)

オンデマンド研修で学んだ知識を基に、日本語コース設計演習と事例検討を通じて実践的な支援スキルを習得する。

1. オンデマンド教材の振り返りと質疑応答

2. 演習1: 初期指導の日本語コースデザイン設計

3. 演習2: 外国人児童生徒等の社会参加を支える地域との連携・協働のデザイン(予定)

※オンデマンド研修及びオンライン研修で取り扱う内容・順番・授業タイトルは変更となることがあります。

■学修のすすめ方

1. オンデマンド研修の教材を順番に視聴してください。

2. オンライン研修に向けて、オンデマンド教材の学習内容に関する疑問点や感想などを事前に提出してください(提出方法については、授業動画内で別途指示します)

3. オンライン研修動画内で扱われている内容について、動画内で指示する補助的な資料や文献に目を通しておいください。

4. オンライン研修(WEBライブ)では、主にグループワークでの演習を実施します。双方向の研修に参加可能な通信環境を整え、積極的に参加してください。

5. オンライン研修後、レポートを作成して提出してください。

■参考書・参考資料等

授業動画内で適宜指示します。